

東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所 共同研究プロジェクト  
 「子どもの生活と学びに関する親子調査 2024」結果 10年連続 1.2万人回答 <ランキング篇>

## 高校生のなりたい職業 No.1 は男女ともに「教員」 10年前と比較し、YouTuber、SE など IT 関連職の人気も上昇

東京大学社会科学研究所（所在地：東京都文京区、所長：宇野重規）と株式会社ベネッセコーポレーション（本社：岡山市、代表取締役会長兼社長：岩瀬大輔）の社内シンクタンクであるベネッセ教育総合研究所は、2014年に「子どもの生活と学び」の実態を明らかにする共同研究プロジェクトを立ち上げました。このプロジェクトでは、2015年以降、同一の親子（小学1年生から高校3年生、約2万組）を対象に10年間継続して調査（子どもの生活と学びに関する親子調査）を行い、12学年の親子の意識・行動の変化を明らかにしてきました。

今回の<ランキング篇>では、この調査をもとに、子どもの「なりたい職業」の結果を発表します。プロジェクトでは今回の分析結果を手がかりにして、これからの進路選択のあり方について、子ども本人やその保護者、学校教員をはじめとする教育関係者の皆さまとともに考え、具体的な情報や支援策を発信していきたいと思えます。

### 子どもたちのなりたい職業（ランキング）

#### 1) 子どもたちのなりたい職業 No.1

小4～6生は「プロスポーツ選手」、中学生は「プロスポーツ選手」と「教員」（同率）、高校生は「教員」。【図表1】

#### 2) 男女別なりたい職業の違い

小4～6では、男子は「プロスポーツ選手」がダントツ人気で、「YouTuber・VTuber」が続く。女子は「店員（花屋・パン屋など）」がNo.1。中高生では、男子は「ゲームクリエイター」や「SE・プログラマー」、女子は「管理栄養士」や「薬剤師」が上位に入る。【図表2-1～2-3】

#### 3) ここ10年での変化

中高生のなりたい職業No.1が「教員」であることは、この10年変化なし。「YouTuber・VTuber」が小学生でランク外から4位に、高校生で「SE・プログラマー」が13位から6位に上昇するなど、デジタル化に応じた変化も。【図表3】

#### 1) なりたい職業 No.1

小4～6生では「プロスポーツ選手」、中学生では「教員」と「プロスポーツ選手」（同率）、高校生では「教員」。

小4～6			中学生			高校生		
1位	プロスポーツ選手	13.5%	1位★	教員	7.1%	1位	教員	9.9%
2位	店員（花屋・パン屋など）	5.8%	1位★	プロスポーツ選手	7.1%	2位	看護師	6.0%
3位	教員	3.8%	3位	医師	5.1%	3位	医師	4.0%
4位	YouTuber・VTuber	3.6%	4位	看護師	3.9%	4位	地方公務員	3.9%
5位	医師	3.5%	5位	保育士・幼稚園教員	3.2%	5位	保育士・幼稚園教員	3.4%
6位	パティシエ	3.1%	6位	薬剤師	2.9%	6位	SE・プログラマー	3.2%
7位	保育士・幼稚園教員	2.9%	7位	研究者・大学教員	2.7%	7位	医療専門職	3.0%
8位	看護師	2.8%	8位	ゲームクリエイター	2.5%	8位	研究者・大学教員	2.7%
9位	芸能人（俳優・歌手・芸人など）	2.6%	9位	イラストレーター	2.4%	9位★	会社員	2.2%
10位	研究者・大学教員	2.5%	10位	建築士	2.3%	9位★	薬剤師	2.2%
11位	イラストレーター	2.2%	11位	芸能人（俳優・歌手・芸人など）	2.2%	11位	管理栄養士	1.8%
12位	獣医師	2.2%	12位	美容師・理容師	2.0%	12位	警察官	1.6%
13位	会社員	2.1%	13位★	SE・プログラマー	1.8%	13位★	デザイナー	1.4%
14位★	美容師・理容師	2.1%	13位★	会社員	1.8%	13位★	建築士	1.4%
14位★	警察官	2.1%	15位	獣医師	1.7%	15位★	エンジニア	1.3%
16位	ゲームクリエイター	2.0%	16位★	デザイナー	1.6%	15位★	商品研究・開発職	1.3%
17位	薬剤師	1.8%	16位★	地方公務員	1.6%	17位	獣医師	1.2%
18位	建築士	1.8%	18位★	YouTuber・VTuber	1.4%	18位★	カウンセラー・臨床心理士	1.1%
19位	漫画家	1.5%	18位★	パティシエ	1.4%	18位★	プロスポーツ選手	1.1%
20位	飼育員・動物トレーナー	1.4%	20位	店員（花屋・パン屋など）	1.4%	20位	芸能人（俳優・歌手・芸人など）	1.0%

【図表 1】なりたい職業【2024 年データ】（学校段階別）

\* 2024 年調査の結果。「あなたには、将来なりたい職業（やりたい仕事）はありますか」という質問に「ある」と回答した者に、「あなたが一番なりたい職業（やりたい仕事）を、具体的に教えてください」とたずねた結果（自由記述）を分類した。  
 \* なりたい職業が「ある」と回答したのは、小 4~6 生 1,872 名、中学生 1,403 名、高校生 1,100 名。\* ★印は同順位（同数）であることを示す。

## 2) 男女による違い

### ① 小 4~6 : 男子は「プロスポーツ選手」、女子は「店員（花屋・パン屋など）」が No.1。

1位	プロスポーツ選手	25.3%
2位	YouTuber・VTuber	5.8%
3位	研究者・大学教員	4.2%
4位	店員（花屋・パン屋など）	3.9%
5位	ゲームクリエイター	3.7%
6位	会社員	3.6%
7位	電車運転士	2.5%
8位★	SE・プログラマー	2.4%
8位★	建築士	2.4%
8位★	教員	2.4%
8位★	警察官	2.4%
12位	医師	2.2%
13位	大工・建設	2.1%
14位	宇宙飛行士・宇宙エンジニア	1.7%
15位	飼育員・動物トレーナー	1.6%
16位	消防員・救急救命士	1.5%
17位	パイロット	1.4%
18位	弁護士	1.2%
19位	料理人	1.0%
20位	気象予報士	0.8%

1位	店員（花屋・パン屋など）	7.5%
2位	看護師	5.4%
3位★	パティシエ	5.3%
3位★	保育士・幼稚園教員	5.3%
5位	教員	5.1%
6位	医師	4.7%
7位	芸能人（俳優・歌手・芸人など）	4.2%
8位	美容師・理容師	3.9%
9位	イラストレーター	3.8%
10位	獣医師	3.5%
11位	薬剤師	2.9%
12位	プロスポーツ選手	2.6%
13位	漫画家	2.2%
14位	デザイナー	2.0%
15位	作家（著述家）	1.9%
16位	警察官	1.7%
17位★	YouTuber・VTuber	1.6%
17位★	料理人	1.6%
19位	トリマー・ペットシッター	1.5%
20位	声優	1.4%

**男女ともに多い職業**

- 店員（花屋・パン屋など）【男子4位、女子1位】
- 教員【男子8位、女子5位】
- 医師【男子12位、女子6位】

**男子に多い職業**

- プロスポーツ選手【男子1位、女子12位】
- YouTuber・VTuber【男子2位、女子17位】
- 研究者・大学教員【男子3位、女子圏外】
- ゲームクリエイター【男子5位、女子圏外】
- 会社員【男子6位、女子圏外】

**女子に多い職業**

- 看護師【男子圏外、女子2位】
- パティシエ【男子圏外、女子3位】
- 保育士・幼稚園教員【男子圏外、女子4位】
- 芸能人（俳優・歌手・芸人など）【男子圏外、女子7位】

【図表 2-1】なりたい職業【2024 年データ】（小 4~6・男女別）

\* 注は図表 1 と同じ。

### ② 中学生 : 男子は「プロスポーツ選手」、女子は「教員」が No.1。

1位	プロスポーツ選手	14.2%
2位★	教員	5.5%
2位★	医師	5.5%
4位	ゲームクリエイター	5.1%
5位	研究者・大学教員	4.6%
6位★	SE・プログラマー	3.6%
6位★	建築士	3.6%
8位★	YouTuber・VTuber	2.2%
8位★	地方公務員	2.2%
10位★	料理人	2.0%
10位★	会社員	2.0%
12位	警察官	1.9%
13位★	社長（経営者）	1.5%
13位★	飼育員・動物トレーナー	1.5%
13位★	獣医師	1.5%
13位★	薬剤師	1.5%
17位	エンジニア	1.4%
18位	宇宙飛行士・宇宙エンジニア	1.2%
19位★	電車運転士	1.0%
19位★	店員（花屋・パン屋など）	1.0%

1位	教員	10.6%
2位	看護師	8.4%
3位	保育士・幼稚園教員	6.7%
4位	医師	6.1%
5位	薬剤師	5.1%
6位	イラストレーター	4.6%
7位	美容師・理容師	4.3%
8位	芸能人（俳優・歌手・芸人など）	3.9%
9位	デザイナー	2.9%
10位★	管理栄養士	2.6%
10位★	パティシエ	2.6%
12位	獣医師	2.4%
13位	店員（花屋・パン屋など）	2.0%
14位★	カウンセラー・臨床心理士	1.9%
14位★	プロスポーツ選手	1.9%
14位★	会社員	1.9%
17位★	声優	1.7%
17位★	ウェディングプランナー	1.7%
17位★	建築士	1.7%
20位	研究者・大学教員	1.5%

**男女ともに多い職業**

- 教員【男子2位、女子1位】
- 医師【男子2位、女子4位】
- 薬剤師【男子13位、女子5位】

**男子に多い職業**

- プロスポーツ選手【男子1位、女子14位】
- ゲームクリエイター【男子4位、女子圏外】
- 研究者・大学教員【男子5位、女子20位】
- SE・プログラマー【男子6位、女子圏外】
- 建築士【男子6位、女子17位】

**女子に多い職業**

- 看護師【男子圏外、女子2位】
- 保育士・幼稚園教員【男子圏外、女子4位】
- イラストレーター【男子圏外、女子6位】
- 芸能人（俳優・歌手・芸人など）【男子圏外、女子7位】

【図表 2-2】なりたい職業【2024 年データ】（中学生・男女別）

\* 注は図表 1 と同じ。

### ③高校生：男女ともに「教員」が No.1

#### 高校生・男子

1位	教員	9.7%
2位	SE・プログラマー	5.8%
3位	医師	5.1%
4位	地方公務員	4.1%
5位	研究者・大学教員	3.6%
6位★	エンジニア	2.9%
6位★	会社員	2.9%
8位	警察官	2.4%
9位★	建築士	2.2%
9位★	プロスポーツ選手	2.2%
11位	医療専門職	1.9%
12位★	消防員・救急救命士	1.5%
12位★	弁護士	1.5%
12位★	薬剤師	1.5%
15位	通訳	1.2%
16位★	起業	1.0%
16位★	社長(経営者)	1.0%
16位★	カウンセラー・臨床心理士	1.0%
16位★	作家(著述家)	1.0%
16位★	ゲームクリエイター	1.0%

#### 高校生・女子

1位	教員	10.2%
2位	看護師	9.6%
3位	保育士・幼稚園教員	5.3%
4位	医療専門職	3.9%
5位	地方公務員	3.5%
6位	医師	3.3%
7位	管理栄養士	3.2%
8位	薬剤師	2.8%
9位★	デザイナー	1.9%
9位★	研究者・大学教員	1.9%
9位★	商品研究・開発職	1.9%
12位★	会社員	1.8%
12位★	保健師・助産師	1.8%
14位★	美容師・理容師	1.6%
14位★	獣医師	1.6%
16位	SE・プログラマー	1.4%
17位★	カウンセラー・臨床心理士	1.2%
17位★	芸能人(俳優・歌手・芸人など)	1.2%
17位★	パティシエ	1.2%
20位	キャビンアテンダント	1.1%



#### 男女ともに多い職業

- 教員【男子1位、女子1位】
- 医師【男子3位、女子6位】
- 地方公務員【男子4位、女子5位】
- 研究者・大学教員【男子5位、女子9位】



#### 男子に多い職業

- SE・プログラマー【男子2位、女子16位】
- エンジニア【男子6位、女子圏外】
- 警察官【男子8位、女子圏外】
- プロスポーツ選手【男子9位、女子圏外】



#### 女子に多い職業

- 看護師【男子圏外、女子2位】
- 保育士・幼稚園教員【男子圏外、女子3位】
- 医療専門職【男子11位、女子4位】
- 管理栄養士【男子圏外、女子7位】

【図表 2-3】なりたい職業【2024 年データ】(高校生・男女別)

\*注は図表 1 と同じ。

### 3) 経年による変化

中高生のなりたい職業 No.1 が「教員」であることは、この 10 年変化なし。

#### 2015年・小4~6

1位	プロスポーツ選手	16.2%
2位	パティシエ	5.5%
3位	保育士・幼稚園教員	5.4%
4位	医師	5.4%
5位	店員(花屋・パン屋など)	4.7%
6位	教員	4.3%
7位	デザイナー	3.3%
8位	研究者・大学教員	3.2%
9位★	芸能人(俳優・歌手・芸人など)	2.7%
9位★	看護師	2.7%
11位	薬剤師	2.1%
12位	ゲームクリエイター	2.0%
13位	漫画家	1.9%
14位	飼育員・動物トレーナー	1.8%
15位	警察官	1.7%
16位	獣医師	1.6%
17位	大工・建設	1.5%
18位	美容師・理容師	1.5%
19位	料理人	1.4%
20位	建築士	1.4%

#### 2015年・中学生

1位	教員	7.7%
2位	保育士・幼稚園教員	6.7%
3位	プロスポーツ選手	6.6%
4位	医師	5.8%
5位	看護師	4.8%
6位	薬剤師	3.8%
7位	研究者・大学教員	3.0%
8位	芸能人(俳優・歌手・芸人など)	2.4%
9位	地方公務員	2.2%
10位	会社員	1.9%
11位	パティシエ	1.7%
12位★	ゲームクリエイター	1.6%
12位★	警察官	1.6%
14位	イラストレーター	1.4%
15位	デザイナー	1.4%
16位	建築士	1.2%
17位	料理人	1.2%
18位★	美容師・理容師	1.1%
18位★	獣医師	1.1%
20位	声優	1.0%

#### 2015年・高校生

1位	教員	10.9%
2位	看護師	6.6%
3位	保育士・幼稚園教員	5.9%
4位	医師	5.1%
5位	研究者・大学教員	4.0%
6位	地方公務員	3.7%
7位	薬剤師	3.5%
8位	会社員	3.0%
9位	医療専門職	2.7%
10位	管理栄養士	2.4%
11位	建築士	1.9%
12位	美容師・理容師	1.5%
13位	SE・プログラマー	1.5%
14位	国家公務員・官僚	1.3%
15位	芸能人(俳優・歌手・芸人など)	1.3%
16位	警察官	1.2%
17位	商品研究・開発職	1.1%
18位★	キャビンアテンダント	1.1%
18位★	デザイナー	1.1%
20位	プロスポーツ選手	1.0%

【図表 3】なりたい職業【2015 年データ】(学校段階別)

\* 2015 年調査の結果。「あなたには、将来なりたい職業(やりたい仕事)はありますか」という質問に「ある」と回答した者に、「あなたが一番なりたい職業(やりたい仕事)を、具体的に教えてください」とたずねた結果(自由記述)を分類した。

\*なりたい職業がある」と回答したのは、小4~6生 2,595 名、中学生 1,997 名、高校生 2,031 名。\*★印は同順位(同数)であることを示す。

## 【解説】

## 子どもたちの「なりたい職業」の特徴と変化——10年にわたる追跡調査から

ベネッセ教育総合研究所  
主席研究員 木村治生

- **調査の意義**：デジタル化、グローバル化、働き方の多様化など、職業を取り巻く環境は大きく変化しています。そのようななかで、子どもに人気があるのはどのような職業なのでしょうか。子どもたちがどのような職業に憧れを抱き、将来どのようなキャリアを思い描いているのかを知ることは、社会の未来を考えるうえで重要な手がかりとなります。なぜなら、子どもたちの職業観や価値観は、時代の潮流や社会の変化を反映するとともに、教育やキャリア支援の方向性を考えるうえで貴重な情報を提供してくれるからです。このような意義から、東京大学社会科学研究所とベネッセ教育総合研究所の「[子どもの生活と学びに関する親子調査](#)」では、毎年、子どものなりたい職業を調べています。
- **2024年調査の結果**：最新の2024年調査の結果をみると、小4～6の人気No.1は「プロスポーツ選手」で、2位に「店員（花屋・パン屋など）」、3位に「教員」がランクインしました。中学生では「教員」と「プロスポーツ選手」が同率1位、高校生では「教員」が1位となり、中高生では教員人気が高いことが明らかになりました。
- **男女による違い**：選択する職業には、男女で違いがみられます。小4～6では、男子の25%が「プロスポーツ選手」を選ぶなどダントツの人気で、これに「YouTuber・VTuber」「研究者・大学教員」が続きます。一方、女子は「店員（花屋・パン屋など）」が1位で、「看護師」「パティシエ」「保育士・幼稚園教員」が上位に入りました。中学生では、男子は「プロスポーツ選手」が小学生に引き続き1位で、「教員」「医師」「ゲームクリエイター」などがランクインしています。女子は「教員」が支持を集め、「看護師」「保育士・幼稚園教員」「医師」が続きます。高校生では男女ともに「教員」が1位であることに変わりありませんが、男子は「SE・プログラマー」や「医師」、女子は「看護師」や「保育士・幼稚園教員」などが上位です。
- **経年による変化**：2015年と2024年の調査結果を比較すると、子どもたちのなりたい職業には新しい傾向が現れています。たとえば、小学生では「YouTuber・VTuber」がランク外から4位に、高校生では「SE・プログラマー」が13位から6位に上昇しました。デジタル社会の進展を背景に、IT関連職が注目されるようになったことがうかがえます。一方で、人気職業は大きく変わらない部分もあります。「プロスポーツ選手」は小学生から中学生にかけての男子には、安定して上位にランクインしています。また、とくに「教員」が中高生の間で人気があり、この10年間一貫して1位を維持しています。
- **教員が人気の理由**：教員が人気の理由としては、まず子どもたちにとって最も身近な職業である点が挙げられます。また、男女ともに偏りなく人気があることも特徴的です。さらに、中学生・高校生と学年が上がるにつれて、夢を追う職業から資格を要する現実的な職業への志向が強まる点も、教員の人気が高まる背景にあります。一方で、近年では教員の採用倍率が低下しており、なり手不足が社会的な課題として指摘されています。その課題を解消するためにも、労働環境や処遇の改善を進めることで、教員という職業の魅力を高める必要があります。
- **さいごに**：私たち研究プロジェクトでは、[先に発信したプレスリリース](#)で、なりたい職業を早期に決め、それが一貫していることが重要ではないとお伝えしました。職業をめぐる環境の変化が激しい今日、いま知っているわかりやすい職業を選ぶことが良いかもわかりません。それよりもむしろ、自分の多様な可能性を考え、いろいろな観点から進路について深く考える経験が大切です。そのような経験は、子どもの学習意欲や行動にプラスの関連があることが明らかになっています。子どもたちの進路は一人ひとり異なり、多様です。私たち大人にできるのは、子どもを型にはめるのではなく、考えるきっかけを与え、選択肢を広げ、ともに悩み、応援することです。今回の調査結果が、子どもたち自身が未来を考えるうえでの契機となり、周囲の大人がその過程を支えるためのヒントとなれば幸いです。

ベネッセ教育総合研究所のホームページから、調査結果をまとめたレポートをダウンロードできます。

<https://benesse.jp/berd/special/datachild/pdf/datashu08.pdf>



**【調査概要】**

<b>名称</b>	「子どもの生活と学びに関する親子調査 2015～2024」(第1～10回)																																																																																																																																																																																															
<b>調査テーマ</b>	<b>【子ども調査】</b> 子どもの生活と学習に関する意識と実態 <b>【保護者調査】</b> 保護者の子育て・教育に対する意識と実態 ※小1～3生は保護者のみ実施																																																																																																																																																																																															
<b>調査時期</b>	各年7～9月																																																																																																																																																																																															
<b>調査方法</b>	2015年は郵送調査とWEB調査の併用。2016～20年は郵送調査、2021年は郵送調査とWEB調査の併用、2022～24年はWEB調査																																																																																																																																																																																															
<b>調査対象</b>	全国の小学1年生～高校3年生の子どもとその保護者(小1～3生は保護者のみ回答) *本研究プロジェクトの調査モニター対象。以下は、各年のサンプルサイズ(親子ペア)。回収率は%。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">全体</th> <th colspan="3">小1～3生</th> <th colspan="3">小4～6生</th> <th colspan="3">中学生</th> <th colspan="3">高校生</th> </tr> <tr> <th>発送数</th> <th>回収数</th> <th>回収率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2015年</td><td>21,569</td><td>16,574</td><td>76.8</td><td>5,504</td><td>4,690</td><td>85.2</td><td>5,080</td><td>3,950</td><td>77.8</td><td>5,379</td><td>4,051</td><td>75.3</td><td>5,606</td><td>3,883</td><td>69.3</td></tr> <tr><td>2016年</td><td>21,485</td><td>15,849</td><td>73.8</td><td>5,617</td><td>4,915</td><td>87.5</td><td>5,234</td><td>3,797</td><td>72.5</td><td>5,225</td><td>3,706</td><td>70.9</td><td>5,409</td><td>3,431</td><td>63.4</td></tr> <tr><td>2017年</td><td>19,136</td><td>15,307</td><td>80.0</td><td>5,700</td><td>5,167</td><td>90.6</td><td>4,662</td><td>3,643</td><td>78.1</td><td>4,312</td><td>3,311</td><td>76.8</td><td>4,462</td><td>3,186</td><td>71.4</td></tr> <tr><td>2018年</td><td>18,217</td><td>14,424</td><td>79.2</td><td>5,408</td><td>4,928</td><td>91.1</td><td>4,634</td><td>3,616</td><td>78.0</td><td>3,977</td><td>2,967</td><td>74.6</td><td>4,198</td><td>2,913</td><td>69.4</td></tr> <tr><td>2019年</td><td>20,056</td><td>15,311</td><td>76.3</td><td>5,879</td><td>5,175</td><td>88.0</td><td>5,251</td><td>4,071</td><td>77.5</td><td>4,497</td><td>3,168</td><td>70.4</td><td>4,429</td><td>2,897</td><td>65.4</td></tr> <tr><td>2020年</td><td>20,413</td><td>15,656</td><td>76.7</td><td>5,921</td><td>5,127</td><td>86.6</td><td>5,639</td><td>4,407</td><td>78.2</td><td>4,595</td><td>3,323</td><td>72.3</td><td>4,258</td><td>2,799</td><td>65.7</td></tr> <tr><td>2021年</td><td>20,471</td><td>15,596</td><td>76.2</td><td>5,829</td><td>5,066</td><td>86.9</td><td>5,704</td><td>4,430</td><td>77.7</td><td>4,812</td><td>3,432</td><td>71.3</td><td>4,126</td><td>2,668</td><td>64.7</td></tr> <tr><td>2022年</td><td>20,951</td><td>13,398</td><td>63.9</td><td>5,844</td><td>4,716</td><td>80.7</td><td>5,737</td><td>3,664</td><td>63.9</td><td>5,058</td><td>2,922</td><td>57.8</td><td>4,312</td><td>2,096</td><td>48.6</td></tr> <tr><td>2023年</td><td>21,525</td><td>13,201</td><td>61.3</td><td>5,743</td><td>4,583</td><td>79.8</td><td>5,869</td><td>3,489</td><td>59.4</td><td>5,462</td><td>3,070</td><td>56.2</td><td>4,451</td><td>2,059</td><td>46.3</td></tr> <tr><td>2024年</td><td>19,866</td><td>12,242</td><td>61.6</td><td>5,866</td><td>4,487</td><td>76.5</td><td>5,279</td><td>2,916</td><td>55.2</td><td>4,853</td><td>2,849</td><td>58.7</td><td>3,868</td><td>1,990</td><td>51.4</td></tr> </tbody> </table>		全体			小1～3生			小4～6生			中学生			高校生			発送数	回収数	回収率(%)	2015年	21,569	16,574	76.8	5,504	4,690	85.2	5,080	3,950	77.8	5,379	4,051	75.3	5,606	3,883	69.3	2016年	21,485	15,849	73.8	5,617	4,915	87.5	5,234	3,797	72.5	5,225	3,706	70.9	5,409	3,431	63.4	2017年	19,136	15,307	80.0	5,700	5,167	90.6	4,662	3,643	78.1	4,312	3,311	76.8	4,462	3,186	71.4	2018年	18,217	14,424	79.2	5,408	4,928	91.1	4,634	3,616	78.0	3,977	2,967	74.6	4,198	2,913	69.4	2019年	20,056	15,311	76.3	5,879	5,175	88.0	5,251	4,071	77.5	4,497	3,168	70.4	4,429	2,897	65.4	2020年	20,413	15,656	76.7	5,921	5,127	86.6	5,639	4,407	78.2	4,595	3,323	72.3	4,258	2,799	65.7	2021年	20,471	15,596	76.2	5,829	5,066	86.9	5,704	4,430	77.7	4,812	3,432	71.3	4,126	2,668	64.7	2022年	20,951	13,398	63.9	5,844	4,716	80.7	5,737	3,664	63.9	5,058	2,922	57.8	4,312	2,096	48.6	2023年	21,525	13,201	61.3	5,743	4,583	79.8	5,869	3,489	59.4	5,462	3,070	56.2	4,451	2,059	46.3	2024年	19,866	12,242	61.6	5,866	4,487	76.5	5,279	2,916	55.2	4,853	2,849	58.7	3,868	1,990	51.4												
	全体			小1～3生			小4～6生			中学生			高校生																																																																																																																																																																																			
	発送数	回収数	回収率(%)	発送数	回収数	回収率(%)	発送数	回収数	回収率(%)	発送数	回収数	回収率(%)	発送数	回収数	回収率(%)																																																																																																																																																																																	
2015年	21,569	16,574	76.8	5,504	4,690	85.2	5,080	3,950	77.8	5,379	4,051	75.3	5,606	3,883	69.3																																																																																																																																																																																	
2016年	21,485	15,849	73.8	5,617	4,915	87.5	5,234	3,797	72.5	5,225	3,706	70.9	5,409	3,431	63.4																																																																																																																																																																																	
2017年	19,136	15,307	80.0	5,700	5,167	90.6	4,662	3,643	78.1	4,312	3,311	76.8	4,462	3,186	71.4																																																																																																																																																																																	
2018年	18,217	14,424	79.2	5,408	4,928	91.1	4,634	3,616	78.0	3,977	2,967	74.6	4,198	2,913	69.4																																																																																																																																																																																	
2019年	20,056	15,311	76.3	5,879	5,175	88.0	5,251	4,071	77.5	4,497	3,168	70.4	4,429	2,897	65.4																																																																																																																																																																																	
2020年	20,413	15,656	76.7	5,921	5,127	86.6	5,639	4,407	78.2	4,595	3,323	72.3	4,258	2,799	65.7																																																																																																																																																																																	
2021年	20,471	15,596	76.2	5,829	5,066	86.9	5,704	4,430	77.7	4,812	3,432	71.3	4,126	2,668	64.7																																																																																																																																																																																	
2022年	20,951	13,398	63.9	5,844	4,716	80.7	5,737	3,664	63.9	5,058	2,922	57.8	4,312	2,096	48.6																																																																																																																																																																																	
2023年	21,525	13,201	61.3	5,743	4,583	79.8	5,869	3,489	59.4	5,462	3,070	56.2	4,451	2,059	46.3																																																																																																																																																																																	
2024年	19,866	12,242	61.6	5,866	4,487	76.5	5,279	2,916	55.2	4,853	2,849	58.7	3,868	1,990	51.4																																																																																																																																																																																	
<b>「子どもの生活と学び」研究プロジェクトメンバー</b>  所属・肩書は2025年5月時点	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プロジェクト代表者 藤原翔(東京大学教授)、野澤雄樹(ベネッセ教育総合研究所所長)</li> <li>●プロジェクトメンバー 耳塚寛明(お茶の水女子大学名誉教授)、秋田喜代美(学習院大学教授、東京大学名誉教授)、松下佳代(京都大学教授)、大野志郎(東京大学特任准教授)、木村治生(ベネッセ教育総合研究所主席研究員)、松本留奈(同主任研究員)、岡部悟志(同主任研究員)、朝永昌孝(同研究員)、小川淳子(同研究員)、佐藤昭宏(同主席研究員)</li> <li>●ワーキンググループメンバー 小野田亮介(山梨大学大学院准教授)、数実浩佑(龍谷大学准教授)、猪原敬介(北里大学講師)、豊永耕平(近畿大学講師)</li> <li>●アドバイザーボードメンバー 石田浩(東京大学名誉教授・客員教授)、佐藤香(元東京大学教授)、香川めい(大東文化大学准教授)、大崎裕子(日本社会事業大学准教授)</li> <li>●スタッフ 中島功滋(ベネッセ教育総合研究所主任研究員)、大内初枝(同スタッフ)、渡邊未央(同スタッフ)</li> </ul>																																																																																																																																																																																															